

2. 火山の概況

(平成 17 年 1 月 27 日 ~ 平成 17 年 2 月 2 日)

2月1日より、吾妻山、草津白根山、九重山、霧島山（新燃岳・御鉢）、薩摩硫黄島、口永良部島及び諏訪之瀬島について、火山活動度レベル（以下レベルと記載）の提供を開始した。

雌阿寒岳、十勝岳及び樽前山では、噴煙の状況に変化はなく、火口の高温状態が続いていたと推定される。

浅間山では噴煙活動が継続し、多量の火山ガスの放出が続いた。また、地震がやや多く発生した。レベルは3。

三宅島では噴煙活動が継続した。

阿蘇山では熱的な活動のやや活発な状態が続いた。レベルは2。

霧島山では御鉢の噴気活動がやや活発であった。御鉢のレベルは2、新燃岳のレベルは1。

口永良部島では地震がやや多く発生した。レベルは2。

諏訪之瀬島では噴火が発生した。レベルは3。

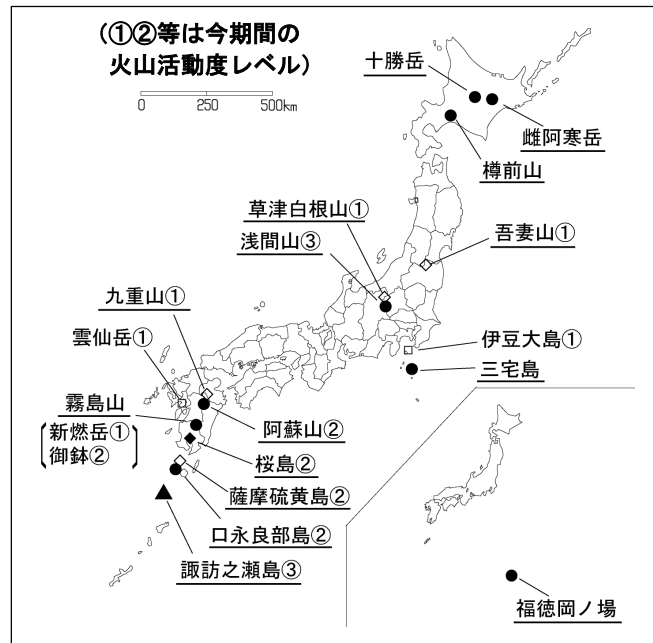


図1 各火山の火山活動度レベル及び記事を掲載した火山（火山名に下線）

| 号 | 対象期間 | 雌阿寒岳 | 十勝岳 | 樽前山 | 吾妻山 | 草津白根山 | 浅間山 | 伊豆大島 | 三宅島 | 福徳岡ノ場 | 九重山 | 阿蘇山 | 雲仙岳 | 霧島山 | 桜島 | 薩摩硫黄島 | 口永良部島 | 諏訪之瀬島 |
|---|-----------|------|-----|-----|-----|-------|-----|------|-----|-------|-----|-----|-----|-----|----|-------|-------|-------|
| 5 | 1/27-2/2 | ● | ● | ● | ◇ | ◇ | ● | | ● | ● | ◇ | ● | | ● | ◆ | ◇ | ● | ▲ |
| 4 | 1/20-1/26 | ● | ● | ● | | | ● | ◇ | ● | | | ● | ◇ | ● | ▲ | | ● | ◆ |
| 3 | 1/13-1/19 | ● | ● | ● | | | ● | ◇ | ● | | | ● | ◇ | ● | ◇ | | ● | ▲ |
| 2 | 1/6-1/12 | ● | ● | ● | | | ● | ◇ | ● | | | ● | ◇ | ● | ◇ | | ● | ▲ |
| 1 | 12/30-1/5 | ● | ● | ● | | | ● | ◇ | ● | | | ● | ◇ | ● | ◇ | | ● | ▲ |

| 号 | 吾妻山 | 草津白根山 | 浅間山 | 伊豆大島 | 九重山 | 阿蘇山 | 雲仙岳 | 霧島山 (新燃岳) | 霧島山 (御鉢) | 桜島 | 薩摩硫黄島 | 口永良部島 | 諏訪之瀬島 |
|---|-----|-------|-----|------|-----|-----|-----|-----------|----------|----|-------|-------|-------|
| 5 | ① | ① | ③ | ① | ① | ② | ① | ① | ② | ② | ② | ② | ③ |
| 4 | | | ③ | ① | | ② | ① | | | ② | | | |
| 3 | | | ③ | ① | | ② | ① | | | ② | | | |
| 2 | | | ③ | ① | | ② | ① | | | ② | | | |
| 1 | | | ③ | ① | | ② | ① | | | ② | | | |

表1 最近1か月に記事を掲載した火山（左）及び各火山のレベル

注1 記号の意味

- ▲：噴火した火山 ●：活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に变化があった火山
- ◆：前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山 ◇：その他記事を掲載した火山
- ：記事を掲載していないレベル対象火山 ①②等の丸付き数字：火山活動度レベル

注2 記事は、▲、●及び◆（注1参照）に該当する火山及びレベル2以上の火山について掲載する。その他の火山については、特記事項のある場合に掲載する。

注3 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、变化があった観測データ項目を示す。

● 雌阿寒岳 [熱]

ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

● 十勝岳 [噴煙・熱]

62-2 火口の噴煙活動は活発な状態が続いており、高温の状態が続いていたと推定される。遠望カメラによる噴煙の高さは火口縁上おおむね 200mで推移した。

● 樽前山 [熱]

A火口およびB噴気孔群の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

◇ 吾妻山 レベル1 (静穏な火山活動)

2月1日より、火山活動度レベルの提供を開始した。地震活動、噴気活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなかった。

◇ 草津白根山 レベル1 (静穏な火山活動)

2月1日より、火山活動度レベルの提供を開始した。地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データに特段の変化はなかった。

● 浅間山 [噴煙・火映・火山ガス・地震・微動] レベル3 (山頂火口で小～中噴火の可能性) <期間外の記述を含む>

今期間、噴火は観測されなかった。

白色噴煙は山頂火口より連続して噴出しており、最高で火口縁上約400mまで上がった。火映が28日に山麓の高感度カメラで観測された。

31日に実施した火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり2,400～3,800トンで、前回(昨年12月17日; 2,900～4,300トン)同様、やや多い状態であった。

火山性地震は、2月1日までは1日当たり56～76回で推移したが、2日にやや多くなり177回発生した。翌3日(期間外)に入ってから朝方まではやや多い状態であったが、その後は2日以前の発生頻度に戻り、3日の日回数は94回となった。なお、この地震活動に関係して傾斜計等その他の観測データに異常な変化は観測されなかった。

火山性微動は1日あたり0～4回観測された。

● 三宅島 [噴煙・地震]

白色噴煙は山頂火口より連続して噴出しており、最高で火口縁上約500mまで上がった。

火山性地震は1日あたり0～4回と少ない状態であった。

● 福德岡ノ場 [変色水]

海上保安庁が2月1日に行った上空からの調査によると、福德岡ノ場から南東方向へ延びる長さ約500m、幅約150mの黄褐色変色水が確認された。付近に浮流物は認められなかった。福德岡ノ場周辺で変色水が確認されたのは、昨年11月24日の海上自衛隊の調査以来である。

◇ 九重山 レベル1 (静穏な火山活動)

2月1日より、火山活動度レベルの提供を開始した。地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

● 阿蘇山 [熱・土砂噴出・微動・地震] レベル2 (やや活発な火山活動)

28日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰緑色、量は約5割で、表面温度は72℃と高い状態であった(前期間は67℃)。また、湯だまりの南西側で高さ1～2mの土砂噴出が観測された。土砂噴出を観測したのは、昨年9月24日以来である。

噴煙は白色で噴煙の高さの最高は火口縁上約600m(前期間500m)であった。

孤立型微動の発生回数は756回であった(前期間は615回)。継続時間の短い火山性微動が4回発生した(前期間はなし)。火山性地震は、30日に68回とやや多く発生した。

地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

● 霧島山 [噴気] 御鉢: レベル2 (やや活発な火山活動) ・新燃岳: レベル1 (静穏な火山活動)

御鉢火口の噴気活動はやや活発で、1月28～30日及び2月2日に時々噴気が監視カメラで観測され、高さの最高は火口縁上約300mであった。2月1日より、新燃岳及び御鉢について、火山活動度レベルの提供を開始した。

◆ 桜島 レベル2 (比較的静穏な噴火活動)

期間中、噴火はなかった（前期間は爆発的噴火が1回）。噴煙活動も低調で、鹿児島地方気象台（南岳の西南西約11km）で降灰は観測されなかった（前期間は1月23日に降灰が観測され、降灰量は12g/m²であった）。

◇ 薩摩硫黄島 レベル2 (やや活発な火山活動)

2月1日より、火山活動度レベルの提供を開始した。地震活動、噴煙活動等の観測データには特段の変化はなかった。

● 口永良部島 [地震・微動] レベル2 (やや活発な火山活動)

火山性地震は、日回数に増減があるものの今期間もやや多い状態が続き、期間中の回数は53回であった（前期間は63回）。火山性微動は、今期間も引き続き継続時間の短いものが時々発生し、期間中の回数は9回であった（前期間は16回）。

島内に設置した監視カメラによる観測では、新岳及び古岳の噴気活動に変化はなかった。

2月1日より、火山活動度レベルの提供を開始した。

▲ 諏訪之瀬島 [噴火・地震・微動] レベル3 (小規模な噴火が発生かその可能性)

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、28日及び29日にごく少量の火山灰を含む噴煙が、28日に火口縁上高さ約500m、29日に同約400mまで上がっているのが確認された。期間中、集落（御岳の南南西約4km）で降灰はなかった。

火山性地震は、29日に46回とやや多く発生し、期間中の回数は62回であった（前期間は30回）。火山性微動は、29日から31日にかけてほぼ連続して発生し、継続時間の短い微動も期間中48回とやや多く発生した（前期間は継続時間の短いものが7回、連続微動の発生はなし）。

2月1日より、火山活動度レベルの提供を開始した。

表2 火山情報発表状況

| 火山名 | 情報の種類及び号数 | 発表日時 | 概要 |
|-------|--------------------------|----------------|--|
| 吾妻山 | 火山観測情報第1号 | 1日 11:00 | 火山活動度レベルの提供開始。レベルは1。 |
| 草津白根山 | 火山観測情報第1号 | 1日 11:00 | 火山活動度レベルの提供開始。レベルは1。 |
| 浅間山 | 火山観測情報第27号 ↓ (1日1回発表) | 27日 16:00 ↓ | 前日及び当日00時～15時の活動状況（噴火はなし、噴煙・火映・鳴動・地震・微動・地殻変動の状況、二氧化硫黄放出量観測結果(32号)及び上空の風の予想）。レベルは3。 |
| | 火山観測情報第33号 | 2日 16:00 | |
| 三宅島 | 火山観測情報第50号 ↓ (1日2回発表) | 27日 09:30 ↓ | 活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。 |
| | 火山観測情報第63号 | 2日 16:30 | |
| 九重山 | 火山観測情報第1号 | 1日 11:00 | 火山活動度レベルの提供開始。レベルは1。 |
| 阿蘇山 | 火山観測情報第4号 | 28日 11:00 | 火山活動は引き続きやや活発（湯だまりの温度高い、小規模な土砂噴出発生、地震やや多い）。レベルは2。 |
| 霧島山 | 火山観測情報第1号 | 1日 11:05 | 火山活動度レベルの提供開始。レベルは新燃岳が1、御鉢が2。 |
| 薩摩硫黄島 | 火山観測情報第1号 | 1日 11:00 | 火山活動度レベルの提供開始。レベルは2。 |
| 口永良部島 | 火山観測情報第5号 | 28日 14:20 | やや活発な火山活動継続（地震やや多い）。 |
| | 火山観測情報第6号 | 1日 11:00 | 火山活動度レベルの提供開始。レベルは2。 |
| 諏訪之瀬島 | 火山観測情報第1号 | 1日 11:00 | 火山活動度レベルの提供開始。レベルは3。 |